**貸　金**　 　　（注）□欄は，該当事項にレ点を付すか，又は，■に反転させる。

**請求の趣旨**

１　□被告は，　□被告らは，連帯して，原告に対し，次の金員を支払え。

　　金　　　　　　　　円（元本）

 　□確定利息金　　　　　　　　　円　□確定遅延損害金　　　　　　　　　　円

　　　□上記金額に対する平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日まで　　　　　年　　パーセントの割合による金員

　　□上記(1)の金額に対する

　　　　□平成　　年　　月　　日から

　　　　□訴状送達の日の翌日から

　　　支払済みまで年　　パーセントの割合による金員

２　訴訟費用は，□被告　□被告ら　の負担とする。

３　この判決は，仮に執行することができる。

**紛争の要点（請求の原因）**

１　原告は，□被告　□被告　　　　　　　　に対し，次のとおり金員を貸し渡した。

　　貸付日と金額

　　　□平成　　年　　月　　日　　　金 　　円

　　　□平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日まで

　　　　　　合計金　　　　　　　　円（□別紙記載のとおり）

　　返済期の定め　□あり

　　　　　　　　　　　□平成　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　□平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　まで毎月　　日限り金　　　　　　　　円の分割払い

　　　　　　　　　　　□別紙のとおり

 　　　　　　　　　□なし

　　特　　　　約　□利息　　　（年　　　パーセント）

　　　　　　　　　　□遅延損害金（年　　　パーセント）

　　　　　　　　　　□期限の利益喪失の定め　□あり　　□なし

２　□被告　　　　　　　　は上記契約を連帯保証した。（□書面あり）

３　返済状況　　　□返済あり

　　　　　　　　　　□平成　　年　　月　　日　　　金　　　　　　　　円

 　　　　　　　　　□平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日　　　　　　　　　　　　　　　まで合計金　　　　　　　円（□別紙記載のとおり）

　　　 □全く返済なし

４　□期限の利益喪失日　平成　　年　　月　　日

５　その他参考事項

**添付書類**

□法人登記事項証明書（資格証明書）　□金銭消費貸借契約書　□連帯保証契約書

□借用書　□念書　□メモ　□